

第76回

通常総会議案書

日時 2025年6月19日(木)14:00
会場 ホテルポートプラザちば



千葉県生活協同組合連合会

千葉県生協連第76回通常総会議案書 目次

第1号議案 2024年度活動報告、決算書承認、剰余金処分案に関する件

I.	2024年度活動のまとめ	1
II.	2024年度決算報告、剰余金処分案	11
	【1】事業報告書	11
	【2】貸借対照表	15
	【3】損益計算書	16
	【4】重要な会計方針及び注記事項	17
	【5】剰余金処分案	22
	監査報告書	23

第2号議案 2025年度活動方針及び収支予算案承認に関する件

I.	2025年度活動方針	24
II.	2025年度収支予算	31

第3号議案 役員選任の件

付属資料	35
地域生協の市町村別加入状況一覧	36
2024年度 会員生協概況表	40

2024年度活動報告、決算書承認、 剩余金処分案に関する件

I 2024年度活動のまとめ

1. はじめに（2024年度活動の特徴）

2024年度は元日に起こった「令和6年能登半島地震」で始まり、4月からは震災とその後の豪雨災害の復興にむけ、全国の生協が支援に取り組みました。2025年1月に阪神淡路大震災から30年を迎える、あらためて直下型大地震の被害、その後の火災や津波などの被害に向き合い、今一度、災害支援、防災・減災、地域や諸団体との連携などについて、考えました。

また円安による輸入品価格の高騰などによる様々な物資の値上がりが続く中、豪雪や猛暑、台風や豪雨などの異常気象による農水産物の不作不漁の影響も受け、特に生鮮野菜の価格高騰に悩まされました。コメの品不足とその後の価格高騰には、生協も苦慮する事態となりました。

新たに、情報社会の急進が課題となっています。SNSやAIなどの活用により、さらに世界が広がった反面、選挙などでは人々の意思決定を意図的に誘導するような事態も見られるようになりました。投資詐欺や闇バイトなどの犯罪被害が常態化しています。私たちは情報社会とどのように付き合うべきなのか、新しい局面を迎える中、会員生協とともに情報社会の中での「情報的健康^{※1}」について学びました。

12月に「日本原水爆被害者団体協議会^{※2}」（以下、日本被団協）がノーベル平和賞を受賞されました。2025年3月に開催した「未来へつなぐ平和のつどい千葉県原爆被爆者友愛会とともに」では、日本被団協に所属する「千葉県原爆被爆者友愛会」の皆様と県内生協がともに喜びを分かち合い、これから核廃絶運動への思いを強くしたところです。ウクライナやガザでの戦争が現在も続く中での受賞は、生協として、これからを生きる若い人たちに被爆の実相や原子爆弾の非人道性を伝え続ける責務を強く感じました。

2025年1月から、2025国際協同組合年^{※3}がスタートしました。2025年度の活動の中で、その意義を体現したいと思います。

2. 2024年度の活動について

方針に基づき、下記の課題に取り組みました。

○2024年度活動方針

世界的なインフレやエネルギー危機、食料危機、気候変動や自然災害、感染症のリスクなど複合的な危機の中、地域でくらす人々が誰ひとり取り残されることなく、生涯にわたって心ゆたかなくらしを実現するために、生協の役割はますます重要です。「コーポSDGs 行動宣言^{※4}」を掲げ、千葉県の生協が連携して社会をリードしながら、SDGsの実現に向け取り組みを進めてゆきます。

重点課題1

会員生協とともに、安心してくらし続けられる社会を実現するため、SDGs達成をめざして社会的課題の解決に取り組みます。

（1）会員生協の活動に共通する課題について、情報収集、学習や事例交流の場を設け、会員どうしが連携して取り組む機会を作ります。

①地域・まちづくりに関する取り組み

- 地域・まちづくり委員会では年間を通して千葉市社会福祉協議会のみなさんと、「居場所」をテーマに学習や視察をおこないました。

5月の第1回では、地域生協間で「地域支援」「生活支援」「助け合い活動」について報告し合い共有しました。

7月の第2回では、千葉市社会福祉協議会の地区部会が開催する「ふれあい・いきいきサロン」を視察しました。

9月に第3回として、パルシステム千葉「に

じいいろパル 松戸六実」を訪問し、「サービス付き高齢者向け住宅における地域連携と松戸市との取り組み」について学びました。

11月の第4回では、千葉市内の女性たちが安心できる「居場所」づくりの活動について学びました。



講師：一般社団法人 マザーズコンフォート 代表 大谷 明子さん

2025年1月には第5回として、男性の「居場所」づくりについて学習しました。また、2025年3月の第6回で1年間の振り返りをおこないました。

- ・千葉県の進める高齢者孤立防止プロジェクト「SSK」^{※5}（しない、させない、孤立化！）に取り組み、地域生協の高齢者見守り活動事例を県に報告しました。

②消費者問題に関する取り組み

- ・7月には「令和6年度消費生活協同組合役員研修会」において「第4次千葉県消費生活基本計画」^{※6}について、学習しました。
- ・7月の第2回食・消費者委員会では、国の消費者課題や政策、消費者団体としての生協の活動について学習しました。
- ・10月には、第3回食・消費者委員会において、全国及び千葉県の消費者被害の状況、地方消費者行政の課題について学びました。
- ・10月に、「2024年度政策検討会」において、新たな社会課題になりつつある「アテンション・エコノミー」^{※7}の現状と課題、「情報的健康」について学習しました。



講師：慶應義塾大学大学院
教授 山本 龍彦さん

- ・子どもの重傷事故予防の啓発に取り組みました。千葉市と会員生協、淑徳大学との連携企画として、市内3会場（11月・コープみらい、12月・パルシステム千葉、1月・生活クラブ生協）で、学習会「子どもを事故から守ろう！パパ・ママトークカフェ」を開催しました。



講師：Safety Kids いずみ代表
太田 由紀枝さん

③食に関する取り組み

- ・4月に第1回食・消費者委員会を開催し、千葉県生協連が提出した「令和6年度千葉県食品衛生監視指導計画」^{※8}への意見に対する県の回答について、委員と確認しました。
- ・9月に食・消費者委員会として千葉市環境保健研究所を見学し、千葉市の食品安全性確保の現状と研究所の役割などについて学びました。
- ・10月には、消費者団体千葉県連絡会の幹事団体として、株式会社ニチレイフーズ船橋第2工場を視察見学しました。フードディフェンス^{※9}、HACCP^{※10}など、美味しさと安全に関する最先端の取り組みについて学びました。
- ・12月に、第4回食・消費者委員会を開催し、機能性表示食品^{※11}・食品表示ルールの見直しと生協の食品安全の取り組みについて学習しました。



講師：一般社団法人 消費者市民
社会をつくる会
代表理事 阿南 久さん

- ・2025年1月に千葉市、2月に千葉県から各自治体が作成した「令和7年度食品衛生監視指導計画」について、食・消費者委員会などで説明いただき、懇談しました。
- ・2025年2月に「第49回千葉県消費者大会」が開催され「安全な食べ物ってなんだろう？～紅麹サプリメントの問題から考える、食の安全～」と題して、機能性表示食品や安全な食品について、学習しました。

④ 防災、減災に関する取り組み

- ・大規模災害対策協議会を年間4回開催しました。

5月の第1回では、千葉県より「災害時の緊急物資等に係る備蓄・物流の基本方針」について説明を受けた後、懇談しました。

9月の第2回に日本赤十字社千葉県支部と、12月の第3回には千葉県社会福祉協議会と「令和6年能登半島地震」への支援活動について交流しました。

2025年3月の第4回では、大規模災害に備えた備蓄品の準備について、交流しました。

- ・2025年3月に、千葉県生協連の災害対応手順書に基づく図上訓練を、会員生協と県連事務局でおこないました。
- ・10月に開催された「第45回九都県市合同防災訓練※12」(会場：いすみ市)に参加協力しました。会員生協から、コープみらい千葉県本部が物資輸送訓練に参加しました。
- ・毎月、5会員生協と千葉県生協連の間で、災害時MCA無線通信訓練をおこないました。

⑤ 憲法、平和に関する取り組み

- ・7月に挙行された「第45回原爆死没者慰靈式典」の実行委員として運営協力し、式典へ出席しました。
- ・8月に「子どもたちに平和な未来を2024」を開催しました。「ちっちゃなこえに耳をすませばあなたの平和がみえてくる」と題し、紙芝居を題材に、子どもたちに平和の大切さを伝えました。



講師：詩人・絵本作家 アーサー・ビナードさん

- ・2025年2月に開催した「平和の懇談会」では、軍都であった戦時中の千葉についての学習と千葉市の七夕空襲体験のお話を聞きしました。
- ・2025年2月に「憲法学習会」を開催しました。「木村草太先生に聞く！憲法とは？」と題し、憲法の歴史や成り立ち、現在問題となっている事例について学びました。
- ・2025年3月には、日本被団協ノーベル平和賞受賞記念企画「未来へつなぐ平和のつどい千葉県原爆被爆者友愛会※13とともに」を開催しました。生協関係者、県民の皆さんなど、100人が参加しました。



右から千葉県被爆者団体友愛会理事 青木清子さん
一般社団法人「核兵器をなくす日本キャンペーン」事務局 浅野英男さん

⑥ 人権に関する取り組み

- 7月の「令和6年度消費生活協同組合役員研修会」では「誰もが安心して働き、暮らせるジェンダー平等で多様性のある地域づくり」をテーマに学び、話し合いました。



講師：独立行政法人国立女性教育会館
理事長 萩原なつ子さん

⑦ 環境、エネルギー問題に関する取り組み

- 7月に「千葉県環境生活部と千葉県生協連役員との懇談会」において、コープデリ連合会「野田エコセンター」の視察をおこないました。回収された資源物の分別作業や圧縮減容作業※14、障害者就労支援※15などについての説明を受けました。
- 10月に開催された「第29回エコメッセしば2024」に、行政や他団体・企業と共に協力しました。「みんな地球のレスキュー隊」をテーマに、オンライン展示、会場展示のハイブリッド開催となりました。
- 11月には、地域生協部会として水俣市の視察研修をおこないました。環境再生と漁業から農業へ転換した生産者の状況を視察しました。
- 2025年3月に食料・農業・環境を考える千葉県民フォーラムが主催する「食料・農業・環境を考えるセミナー」において、気候変動がもたらす食糧危機やそれにともなう食料安全保障※16について学習しました。
- 千葉県環境財団「ちば環境再生推進委員会」の委員として、「ちば環境再生基金」からの県内の環境団体への助成活動に取り組みました。

⑧ 会員生協への支援

- 10月開催「2024年度政策検討会」の午後の部では、「持続可能な社会の実現に向けた、生協の多様な活動を考える～事業や活動のすそ野

を広げるために～」と題し、会員生協の特徴的な取り組み事例を学び、交流しました。

- 10月に開催した第1回職域生協部会では、リニューアルした千葉県庁生協のレストランの視察、上半期事業状況と下期課題について意見交換をおこないました。
- 2025年3月開催の第2回職域生協部会では、活動交流として、千葉県学校生協の取り組みについての報告を共有しました。
- 地域生協部会として年4回、事業と活動の状況、課題について、意見交換をおこないました。
- 11月、12月に、卒業を控えた大学生協組合員に向けて、卒業後の生協加入を呼びかけるチラシを作成し配布しました。
- 2025年1月に4都県（東京、埼玉、神奈川、千葉）生協連共催の学習会「みんな、どうする？～多様な活動から未来を考える～」ハイブリッドで開催しました。様々な背景を持つ人たちとの連携、活動の広がりをどう作るかなどについて、ディスカッションしました。



講師：右からNPO法人 Dialogue for People 副代表 安田菜津紀さん
COOP 次世代ラボ(仮) 和氣未奈さん 能條桃子さん
足立あゆみさん 百瀬綾乃さん
NPO 法人湘南クリーンエイドフォーラム代表理事
五十嵐実さん

- 2025年1月に、「次世代との交流会」を開催しました。会員生協の役職員と地域課題に取り組む若者が交流し、持続可能な社会の実現に向けた協働の在り方について話し合いました。



重点課題2

誰ひとり取り残さない地域社会づくりのため、自治体や諸団体との連携を大切にしながら協同組合としての役割を發揮します。

(1) 自治体に関する取り組み

- 7月に「千葉県環境生活部と千葉県生協連役員との懇談会」を開催しました。会員生協の取り組み状況を紹介し、意見交換をおこないました。
- 7月には「令和6年度消費生活協同組合役員研修会」を千葉県と共に開催し、「運営上の留意点」について、県から説明いただきました。
- 9月および2025年2月に「広報担当者・消費者行政連絡会」を開催し、県行政と会員生協広報担当者が参加しました。会員生協の活動や広報事例を紹介し、消費者被害防止のための啓発記事掲載への協力などについて話し合いました。
- 2025年1月に千葉市、2月には千葉県の「令和7年度食品衛生監視指導計画」に対し提言をおこないました。
- 千葉県生協連として、千葉県の審議会委員などに選任され、県の施策決定に参画しました。

(2) 協同組合関係に関する取り組み

- 7月に会員生協とともに「協同組合のアイデンティティ^{※17}」について学習しました。JA千葉中央会からもご参加いただき、ともにこれからの協同組合について考えました。



講師：一般社団法人 日本協同組合連携機構 常務理事 伊藤 治郎さん

- 11月に第29回「千葉県協同組合提携女性交流会」を催しました。今回のテーマは「食品ロス、地域課題への支援」でした。千葉県内のフードバンク、子ども食堂の活動について学び、連携のきっかけづくりとして開催しました。



- 「千葉県協同組合提携推進協議会」に参画しました。農協、漁協、森林組合と連携し、県民にむけて協同組合の価値をアピールするため、12月には「協同組合フェア」を開催しました。
- 2025年3月に「千葉県協同組合提携推進協議会」が主体となり「2025国際協同組合年」の取り組みをスタートしました。
- 2025年3月に、農協、漁協、森林組合、生協、労働組合、消費者団体などが集う「食料・農業・環境を考える千葉県民フォーラム」に参画しました。
- 日本生協連 中央地連の会議に参加し、他県の生協、生協連との交流を深めました。
- 4都県共催企画を実施するなど、東京都、埼玉県、神奈川県の各県連との連携をより一層深めました。

(3) 友誼団体、関係諸団体に関する取り組み

- 9月から11月の期間に、会員生協とともに、「フードバンクと千葉県内生協連携キャンペーン」を実施しました。
- 一般社団法人千葉県労働者福祉協議会が取りまとめ提言する「令和6年度要請文」に、千葉県生協連としての意見を反映しました。
- 中央労働者福祉協議会がおこなう「すべての

人が学べる社会へ 高等教育費負担軽減プロジェクト」の「私とあなたができること 高等教育費の負担軽減を求めよう」の取り組みに賛同し、消費者団体千葉県連絡会とともに、賛同団体に登録しました。

- ・「日本赤十字社千葉県支部」と学習や懇談を通じ、連携協力しました。
- ・「千葉県ユニセフ協会」の活動に対し支援、協力しました。
- ・経済的、環境的に厳しい状況に置かれている子どもたちを支援する「特定非営利活動法人ちばこどもおうえんだん」の活動に、協力しました。
- ・全国大学生協連奨学財団がおこなう、扶養者を亡くして学業の継続が困難になっている学生を支援する「たすけあい奨学制度」の取り組みに賛同し、賛助会員に登録しました。
- ・県内の諸団体が集う「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める千葉の会」の活動に協力しました。
- ・千葉県内の被爆者団体「千葉県原爆被爆者友愛会」の活動に対し、継続して協力、支援しました。2025年2月にはノーベル平和賞授賞式への渡航費支援金を贈呈しました。
- ・県内の関係諸団体の取り組む事業や企画などの内、その内容や目的に賛同できるものについて後援しました。

重点課題3

消費者市民社会の実現に向け、地域で活動する消費者団体に協力し、支援します。

- ・安全安心で持続可能な消費者市民社会^{※18}を構築するため「消費者団体千葉県連絡会」の事務局として、幹事団体とともに、暮らしの様々な課題について学習や交流、提言をおこないました。
- ・悪質事業者への是正を求める活動をおこなう適格消費者団体^{※19}「特定非営利活動法人 消費者市民サポートちば」の事務局を担い、支

援しました。申し入れ活動の他、地域での学習会、啓発活動も実施しました。

- ・県内どこでも等しく安全安心な暮らしをおくるための生活インフラ^{※20}として、消費者行政を充実させることを目的として活動する「消費者行政充実ネットちば」の取り組みに参画しました。

重点課題4

生協の取り組みに共感と理解を深めていただけるよう、様々な場面、年代、団体に向けた情報発信に努めます。

- ・県行政関連部局と委員会や部会などで懇談を重ね、暮らしに関わる諸課題について協力関係を深めました。
- ・8月には公明党千葉県支部主催「政策要請懇談会」に出席し、県行政における諸課題についての千葉県生協連の要望や考えを説明し、懇談しました。
- ・千葉大学で開講された日本協同組合連携機構（JCA）が主催する「国際協同組合年記念千葉大学公開寄附講座」の開催に協力しました。会員生協からは千葉大学生協、パルシステム千葉、コープみらいに講師をお願いしました。
- ・創立75周年記念事業として、千葉県が創設した「児童養護施設等退所者に対する奨学基金」に寄付金を贈呈しました。



右から(社福) 千葉県社会福祉協議会常務理事 尾関範子さん
千葉県生活協同組合連合会会長理事 首藤英里子

- ・毎月の広報誌や半期ごとの活動をまとめたフォトトピックスを作成し、千葉県生協連の取り組みを紹介しました。
- ・千葉日報社の新春特集「千葉のトップが語る」の中で、千葉県内の生協の事業や活動について広く県民に紹介しました。
- ・様々な機会、課題などにおいて、千葉県労働者福祉協議会、日本赤十字社千葉県支部、千葉県社会福祉協議会、千葉市社会福祉協議会などと交流、連携を深めました。

重点課題5

生協の事業と活動の継続・発展を支えるため、
民主的かつ効率的な組織運営および県連職員
の業務品質の向上に取り組みます。

(1) 機関会議および主要会議の取り組み

- ・「第75回通常総会」は法令および定款、規約の定めるところにより、円滑に開催することができました。
- ・理事会は状況に応じ、対面とオンラインを併用して開催しました。
- ・県と共に「消費生活協同組合役員研修会」を開催し、県行政や生協法に対する理解を深めることができました。
- ・「2024年度政策検討会」では、会員生協の意見を反映し、時宜に適った課題を取り上げて開催することができました。

(2) 委員会、部会などの取り組み

- ・地域まちづくり委員会は6回、食・消費者委員会は視察を含め6回を開催しました。テーマに基づいた学習や、会員生協相互の情報交換をおこない、理解を深めました。
- ・職域生協部会は2回、地域生協部会は4回を開催し、事業活動の情報交換や交流をおこない、連携が深りました。
- ・大規模災害対策協議会を4回開催しました。災害時に関係団体と円滑に連携し、対応できるよう、活動交流や学習を進めました。

- ・「子どもたちに平和な未来を2024」開催にあたり、会員生協から実行委員会に参画いただきました。
- ・9月と2025年2月に「広報担当者・消費者行政連絡会」を開催し、千葉県がおこなう県民に向けた消費者問題に関する啓発への広報協力について検討、実施しました。各地域生協の広報媒体に、千葉県からの啓発情報を掲載しました。

(3) 組織基盤の強化に向けた取り組み

- ・千葉県生協連の活動を担う職員の業務品質の向上と効率化に向け、業務手順の整理と共有化を進めました。
- ・職員研修として、賀川豊彦記念松沢資料館及びユニセフハウスの見学、ガザ紛争及びパレスチナ問題についての学習会を実施しました。



講師：認定NPO法人パレスチナ子どものキャンペーン
海外事業チーフ 中村哲也さん

- ・職員一人一人の成長と職員同士の学び合い・助け合いを促進する職場運営・マネジメントに取り組みました。

本議案における、議案の本旨に反しない範囲での字句の修正は、理事会にご一任ください。

2024年度 活動のまとめフォトトピックス

2024年6月20日、千葉県生
協連第75回通常総会が開催さ
れ、2024年度の5つの重点課
題が承認されました。
主な活動をご紹介します。

重点課題1

会員生協とともにくらしの願いを
実現するため、SDGs達成をめざ
して社会的課題に取り組みます。



食・消費者委員会視察見学

千葉市環境保健研究所 視察見学



日本被団協ノーベル平和賞受賞記念
「未来へつなぐ平和のつどい」

千葉県原爆被爆者友愛会とともに」



2024年度政策検討会 午前の部
「デジタル空間と私たちのくらし
～情報的健康とは～」

講師 廉義塾大学大学院教授 山本龍彦先生



令和6年度消費生活協同組合役員研修会
「誰もが安心して働き、暮らせるジェンダー平等
で多様性のある地域づくり」

講師 国立女性教育会館理事長 萩原なつ子先生



2024年度政策検討会 午後の部
「持続可能な社会の実現に向けた、生協の多
様な活動を考える～事業や活動のすそ野を広
げるために～」



第5回地域・まちづくり委員会
「豊中のcsw・生活支援コーディネーター・
重層的支援体制整備の取り組み」

講師：社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会
事務局長 勝部麗子さん



子どもたちに平和な未来を2024
「ちっちゃなこえに耳をすませば
あなたの平和がみえてくる」

講師：詩人・絵本作家アーサー・ビナードさん



重点課題2
誰一人取り残されない地域社会づくりのため、自治体や諸団体との連携を大切にしながら協同組合としての役割を發揮します。



重点課題3 消費者市民社会の実現に向 け、地域で活動する消費者団 体に協力し、支援します。



重点課題4

生協の取り組みに共感と理解を
深めていただけるよう、様々な
場面、年代、団体に向けた情報
発信に努めます。



第49回千葉県消費者大会 主催：消費者団体千葉県連絡会
「安全な食べ物ってなんだろう？～紅麹サプリメントの問題から考える、食の安全～」
講師：(公社)日本食品衛生協会学術顧問 欽山智香子先生

重点課題5 生協の事業と活動の継続・ 発展を支えるため、民主的 かつ効率的な組織運営及び 県連職員の業務品質の向上 に取り組みます。



職員研修
賀川豊彦記念松澤資料館 研修・視察



令和6年度 (2024年度)
国際協同組合年記念千葉大学公開寄附講座



委員会・部会の取り組み
2024年度第1回職域生協部会
「千葉県庁生協レストラン、売店視察」



Ⅱ 2024年度決算報告、剩余金処分案に関する件

【1】事業報告書

2025年3月31日

1. 連合会の事業活動の概況に関する事項

(1) 2024年度末における事業活動の経過及びその成果

①事業の経過およびその成果

第1号議案に記載した「2024年度活動報告」のとおりです

②対処すべき重要な課題

第2号議案に記載した「2025年度活動方針」のとおりです。

(2) 2024年度末における会員の内容

項目	期首	増	減	期末
地域生協	4	0	0	4
職域生協	1	0	0	1
大学生協	3	0	0	3
学校生協	1	0	0	1
住宅生協	1	0	0	1
共済生協	1	0	0	1
高齢者生協	1	0	0	1
合計	12	0	0	12

準会員の内容

項目	期首	増	減	期末
地域生協	2	0	0	2

(3) 直前3事業年度の財産及び損益の概況

(単位:円)

項目	2021年度	2022年度	2023年度	本年度
会員数	12	12	12	12
出資金額	2,160,000	2,160,000	2,160,000	2,160,000
事業収入	47,107,200	47,573,400	47,925,000	47,853,000
事業経費	44,057,533	45,227,400	46,888,979	45,908,803
経常剰余金	3,140,538	2,549,397	1,061,511	2,126,301
総資産	47,729,692	50,232,413	52,389,635	54,469,030
純資産	46,250,175	48,729,572	49,721,083	51,777,384

(4) 教育事業等の状況

①当期に繰り越された教育事業等繰越金 500,000円

②教育事業等要した費用の内訳

生協法51条の4第5項(教育事業等繰越金)に要した費用の内訳

・教育文化費 会員組合員学習会等 1,299,460円

・調査研究費 役員研修会、研修費用、書籍購入等 406,056円

2. 連合会の運営組織の状況に関する事項

(1) 総会の決議

①総会開催日 2024年6月20日

②代議員数 55名

③出席代議員数 55名(本人出席39名、書面出席16名)

④重要な議事及び議決事項

第1号議案 2023年度活動、決算書承認、剰余金処分案に関する件

第2号議案 2024年度活動方針及び収支予算案承認に関する件

第3号議案 役員補充選任の件

第4号議案 定款変更の件

(2) 会員に関する事項

(単位:円)

区分	会員数	口数	出資金総額
当期首現在	12	216	2,160,000
当期中増加	0	0	0
当期中減少	0	0	0
当期末現在	12	216	2,160,000

(3) 役員に関する事項

役員一覧表 (2025年3月31日現在)

役員名	氏名	就任年月	所属生協名
会長理事	渡邊 英里子	2019年6月	生活協同組合コープみらい 常務執行役員 千葉県本部長
副会長理事	新村 里志	2017年6月	生活協同組合パルシステム千葉 専務理事
専務理事	尼崎 英之	2023年6月	常勤
理事	高橋 由美子	2023年6月	生活協同組合パルシステム千葉 理事長
理事	重田 千鶴子	2023年6月	生活協同組合コープみらい 理事
理事	塙 智	2020年6月	生活クラブ生活協同組合 専務理事
理事	岩崎 秀人	2011年6月	なのはな生活協同組合 専務理事
理事	鶴岡 隆幸	2019年6月	千葉県庁生活協同組合 専務理事
理事	柴崎 智彦	2024年6月	千葉大学生活協同組合 専務理事
理事	筒井 道広	2023年6月	千葉県学校生活協同組合 専務理事
理事	杉浦 高志	2020年6月	千葉県勤労者共済生活協同組合 専務理事
理事	大見 卓央	2023年6月	生活協同組合ちば住宅コープ 専務理事
理事	青木 英二	2024年6月	千葉商科大学生活協同組合 専務理事
監事	有吉 直樹	2020年6月	東邦大学消費生活協同組合 専務理事
監事	渡邊 秀樹	2023年12月	千葉県高齢者生活協同組合 理事長
監事	稻生 修	2023年6月	生活協同組合コープみらい 常勤監事

(4) 職員の数

男	女	計
1	2	3

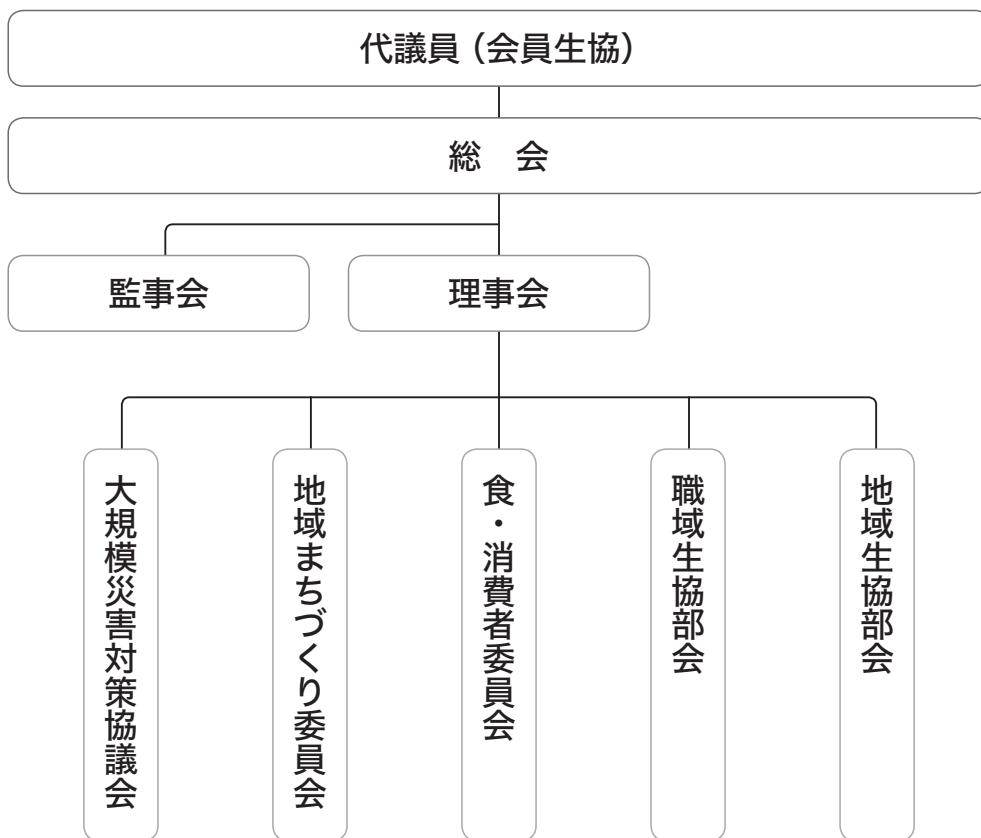
※女性2名は嘱託職員

(5) 主たる事務所の所在地等

千葉市中央区中央4-13-10 千葉県教育会館5F

(6) 業務運営の組織に関する事項

①運営組織 (2025年3月31日現在)



3. その他連合会の状況に関する重要な事項

該当事項ありません

【2】貸借対照表

(2025年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額		科 目	金 額	
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	52,598,173		流動負債	2,691,646	
現金		190,848	未払費用		2,573,367
普通預金		15,407,310	預り金		42,215
定期預金		37,000,015	仮受金		6,064
立替金		0	未払税金		70,000
			固定負債		0
			負債合計	2,691,646	
固定資産	1,870,857		(純資産の部)		
有形固定資産	8,357		会員資本	2,160,000	
器具備品		8,357	出資金		2,160,000
その他固定資産	1,862,500		剩余金	49,617,384	
関係団体出資金		130,000	法定準備金		3,630,000
差入保証金		1,732,500	災害対策等積立金		37,000,000
			記念事業積立金		5,000,000
			当期末処分剩余金		3,987,384
			(うち当期剩余金)		(2,056,301)
			純資産合計	51,777,384	
資産合計	54,469,030		負債・純資産合計	54,469,030	

【3】損益計算書

(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
I. 事業収入		
会費収入		47,853,000
II. 事業経費		
人件費	29,696,656	
物件費	16,212,147	45,908,803
事業剩余金		1,944,197
III. 事業外収入		
受取利息	17,638	
雑収入	164,466	182,104
IV. 事業外費用		
雑損失		0
経常剩余金		2,126,301
V. 特別損失		
当期税引前剩余金		2,126,301
法人税等		70,000
当期剩余金		2,056,301
当期首繰越剩余金		1,931,083
当期末処分剩余金		3,987,384

【4】重要な会計方針及び注記事項

1. 重要な会計方針

(1) 有形固定資産の減価償却方法

- ・法人税法に規定する方法（旧定率法を採用しています）
- ・2012年4月以降取得した備品は定率法を採用しています。
- ・2021年度購入した器具・備品は少額減価償却資産の特例で処理しています。

(2) 消費税の会計処理は、税込処理を採用しています。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産にかかる減価償却累計額

- ・器具備品 取得価格 4,031,826円 減価償却累計額 4,023,469円

(2) 賞与引当金・退職給付引当金の引当該当はありません。

3. 損益計算書に関する注記

(1) 法人税等

- ・当期の法人税等には法人県民税と法人市民税を計上しています。
(当期の法人税・法人事業税の計上はありません)

(2) 教育事業等繰越金

- ・当期首繰越剰余金1,931,083円には、剰余金処分により繰越した教育事業等繰越金500,000円が含まれています。

4. 剰余金に関する注記

- ・次期繰越剰余金には、生協法第51条の4に規定する教育事業等繰越金として300,000円が含まれています。

【決算関係書類附属明細書】

2025年3月31日

(1) 会員資本の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
会員出資金	2,160,000	0	0	2,160,000
法定準備金	3,630,000	0	0	3,630,000
災害対策等積立金	35,000,000	2,000,000	0	37,000,000
記念事業積立金	5,000,000	0	0	5,000,000
当期末処分剰余金	3,931,083	2,056,301	2,000,000	3,987,384
合計	49,721,083	4,056,301	2,000,000	51,777,384

(2) 借入金の明細

・該当事項ありません

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿額
有形資産	器具備品	12,533	0	4,176	4,176	8,357
その他資産	差入保証金	1,732,500	0	0		1,732,500
	関係団体出資金	130,000	0	0		130,000
合計		1,875,033	0	4,176	4,176	1,870,857

(4) 関係団体等出資金の明細

(単位:円)

出資先	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
日本生協連	30,000	0	0	30,000
中央労働金庫	100,000	0	0	100,000
合計	130,000	0	0	130,000

(5) 事業経費の明細

(単位：円)

科 目	金 額
役員報酬	9,500,004
職員給与	12,603,588
厚生福利費	4,778,600
退職給付費用	1,196,427
派遣人件費	1,618,037
人件費計	29,696,656
通信交通費	843,464
調査研究費	406,056
広報費	1,200,997
会議費	2,324,811
賃借料	5,029,185
涉外費	547,567
教育文化費	1,299,460
消耗品費	459,145
諸会費	1,526,069
水道光熱費	335,214
減価償却費	4,176
雑費	240,853
退職金	0
寄附金	1,263,000
租税公課	0
委託料	732,150
物件費計	16,212,147
事業経費合計	45,908,803

(6) その他重要な事項

① 主要な事業に係る資産の内容

ア. 現金預金明細

(単位：円)

区分	期首残高	期末残高	当期増減額
現金	90,003	190,848	100,845
普通預金	18,424,584	15,407,310	-3,017,274
(中央労金千葉支店)	8,645,899	6,282,122	-2,363,777
(千葉銀行長洲支店)	9,664,978	9,125,188	-539,790
(京葉銀行本店)	113,707	0	-113,707
定期預金	32,000,015	37,000,015	5,000,000
(中央労金千葉支店)	15,000,000	25,000,000	10,000,000
(千葉銀行長洲支店)	12,000,015	12,000,015	0
(京葉銀行本店)	5,000,000	0	-5,000,000
合計	50,514,602	52,598,173	2,083,571

イ. 有価証券明細書

・関係団体出資証券は(4)参照

ウ. 差入保証金明細

(単位：円)

差入先	金額
千葉県教育会館維持財団	1,732,500

エ. その他資産明細

・該当事項ありません

②主要な事業に係る負債の内容

ア. 未払費用明細

(単位：円)

内訳	金額	合計
コープみらい	1,589,072	
キャノンマーケティング(株)	10,054	
ヤマト運輸(株)	3,916	
ニフティ(株)	11,330	
千葉グローブシップ(株)	20,900	
(株)コスモス	127,040	
(株)正文社	226,331	
社団法人まちかど防災減災塾	33,000	
(株)システムクリエーション	11,000	
千葉労働局(令和6年度分)	256	
未払給与	540,468	2,573,367

イ. 預り金明細

(単位：円)

内訳	金額	合計
源泉所得税 2024年1月～3月分	29,515	
住民税 2024年3月分	12,700	42,215

ウ. 仮受金

(単位：円)

内訳	金額	合計
コープみらい 日当・出張費	6,064	6,064

エ. 未払法人税等の明細

(単位：円)

内訳	金額	合計
未払県民税	20,000	
未払市民税	50,000	70,000

【5】剩余金処分案

2025年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額
I. 当期末処分剩余金	<u>3,987,384</u>
II. 剰余金処分額	
1. 災害対策等積立金	<u>2,000,000</u>
2. 2025国際協同組合年積立金	<u>1,500,000</u>
III. 次期繰越剩余金	<u>487,384</u>

以上のとおり提案いたします。

<剩余金処分案について>

II. 剰余金処分額

1. 災害対策等積立金

大規模災害等により千葉県生協連の事業活動に大きな災害が出た場合の事業継続費用や被災地の復興支援費用として継続的に積み増します。本期は200万円積み立て、累計で3,900万円とします。

2. 2025国際協同組合年積立金

2025年が「国際協同組合年」となることから、協同組合への理解促進や認知度向上に向けた取り組みをおこなうための費用として150万円積み立てます。2025年11月に開催を予定している企画に向けた費用として使用します。

III. 次期繰越剩余金

生協法第51条の4で定められている教育事業等繰越金は当期剩余金の5%以上を次期繰越剩余金に含めて繰越します。本期の教育事業等繰越金は300,000円とし、次期繰越剩余金は487,384円とします。

千葉県生活協同組合連合会
会長理事 渡邊 英里子

監査報告書

私たち監事は、2024年4月1日から2025年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、当連合会の監事監査規則に基づいて、他の監事と意思疎通及び情報の交換を図るほか、監査方針、監査計画に従い、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、事務所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上のことから、当該事業年度に係る事業報告書及び付属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行ない、当該事業年度に係る決算関係書類（貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案）及びその付属明細書について検討いたしました。

2 監査の結果

（1）事業報告書等の監査結果

- ① 事業報告書及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）決算関係書類及びその付属明細書の監査結果

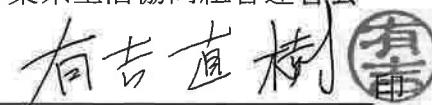
決算関係書類（剰余金処分案を除く）及びその付属明細書は、連合会の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

（3）剰余金処分案の監査結果

剰余金処分案は法令及び定款に適合し、かつ、連合会財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。

2025年4月30日

千葉県生活協同組合連合会

監事 有吉直樹 

監事 渡邊秀樹 

監事 稲生研 

I 2025年度活動方針

1. 2025年度くらしを取り巻く情勢

(1) 石川県能登地方では、能登半島地震、その後の豪雨災害で被災した地域で、復興支援が続いている。全国の生協から人的援助や義援金などの支援が寄せられています。南海トラフ地震、首都直下地震、豪雨、山林火災など、激甚化する自然災害に対応すべく、国では防災省創設が議論の俎上に挙がっています。

(2) 消費者物価指数^{※21}は、変動の大きい生鮮食品を除く総合指数で2024年平均が2.5%上昇しました。2024年の現金給与総額は2.9%増、33年ぶりの高い伸びでしたが、消費者物価指数の物価上昇分を差し引いた実質賃金は0.2%減となり、賃金が物価に追いついていません。特にエンゲル係数が上昇しています。低所得世帯への影響が大きくなっています。

(3) 国民生活基礎調査^{※22}（2022年度）に基づく、相対的に貧困の状態にある子どもの割合は11.5%、特にひとり親世帯の貧困率は44.5%と高くなっています。少子高齢化も進む中、10月から児童手当支給期間の高校生までの延長、所得制限撤廃など拡充されました。

(4) 人口は2008年の1億2,808万人をピークに、2011年以降13年連続で減少し、2023年10月時点の総人口は1億2,435万人と、前年に比べて約60万人減少しました。高齢化も進行し、65歳以上の人口割合を示す高齢化率は2020年の28.6%から、2070年には38.7%へ上昇すると推計されています。それに伴い、生産人口も減り続けており、深

刻な人手不足も続いている。2024年の平均の有効求人倍率は1.25倍でした。

(5) 人口減少とともに2030年をピークに世帯数が減少に転じ、食品小売市場も縮小局面に入ります。税や社会保障費の負担増などもあり、食品への支出減少が想定されます。

(6) 洪水、干ばつ、高温など、2024年も世界的規模で異常気象、自然災害が発生しました。日本でも、台風や記録的豪雨、猛暑などの異常気象による自然災害が、広範囲、長期にわたり、コメ、農産物の生産に大きく影響しました。

(7) 国産、輸入を問わず、生鮮食品、加工食品などの価格上昇、品不足などが、くらしを直撃しています。コメ不足では、くらしに大きな不安が広がりました。そのような中、2024年の通常国会において「食料・農業・農村基本法^{※23}」が改正されました。各地で2024年度末までに、将来的な生産体制についての「地域計画」の策定が進んでいます。

(8) 2024年1月時点で、携帯電話契約者のスマートフォン比率は97%となり、ほぼ全ての人がスマートフォン端末を持つ時代となりました。スマートフォンの普及による新たなサービスが登場する反面、生成AI^{※24}の利活用の伸長から、SNSを介した偽・誤情報の流通・拡散の問題も顕在化しました。

(9) ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルのガザ衝突、中国の海洋進出、シリアのアサド政権崩壊など、世界的規模で政治的、軍事的緊張が高まっています。そのような中、米国

で「アメリカ第一主義」を掲げるトランプ氏が大統領に選出されました。

(10) 日本被団協が2024年度のノーベル平和賞を受賞しました。今回の受賞は、国際社会から唯一の被爆国として、日本に核廃絶に向けた主導的役割を期待するものと言えます。国は、7月の核不拡散条約(NPT)再検討会議^{*25}第2回準備委員会に出席しましたが、2025年3月の核兵器禁止条約^{*26}第3回締結国会議では、オブザーバー参加を見送りました。

(11) 日本の24年度SDGsランキングは18位となり、過去最低だった昨年から3ランク上昇しました。しかし、ジェンダーギャップ指数^{*27}は146か国中118位と、先進国中最下位となっています。世界的には、SDGsの中で2030年までに達成できそうなものは16%。残りの84%は限定的、もしくは後退していると指摘されています。

(12) 2023年11月の国連総会において、2025年を2回目の「国際協同組合年」と宣言しました。全国の生協、協同組合は、各地で連携しつつ記念事業を準備しています。

2. 2025年度活動方針

長引く物価高騰やエネルギー価格の上昇で消費者の暮らしは一段と厳しさを増しています。気候変動や自然災害、感染症のリスクなど複合的な危機の中、地域でくらす人々が誰ひとり取り残されることなく生涯にわたって心ゆたかなく暮らしを実現するために、様々な団体と連携し地域課題解決に向けた取り組みをすすめます。また国際協同組合年の取り組みを通じた協同組合の役割発揮と社会的発信を強化するとともに、被爆・戦後80年にあたり核兵器廃絶の世論を高め、次世代へ被爆、戦争体験を継承します。

重点課題1

会員生協とともに、安心してくらし続けられる社会を実現するため、SDGs達成をめざして社会的課題の解決に取り組みます。

(1) 会員生協の活動に共通する課題について、情報収集、学習や事例交流の場を設け、会員どうしが連携して取り組む機会を作ります。

① 地域・まちづくりに関する取り組み

- ・地域の課題解決をめざし、会員生協の活動事例共有をはじめ、様々な団体の取り組みを学びながら、生協の役割について考えます。
- ・福祉に関する情報を収集し、学習、交流の機会を設けます。
- ・「千葉県高齢者を地域で支えるネットワーク会議^{*28}」の一員として、高齢者が孤立することなく安心して暮らせるよう「SSK」(しない、させない、孤立化!)に引き続き取り組みます。

② 消費者問題に関する取り組み

- ・新たな技術や契約、事業などに伴う消費者課題や被害について、情報収集に努めます。また、自立した消費者としての判断力を養うための学習、交流の場をひろげます。
- ・子ども、高齢者の日常生活の重大事故について、会員生協と共に未然防止のための啓発や学習の機会を設けます。
- ・行政と会員生協が連携した消費者被害の啓発活動に取り組みます。

③ 食に関する取り組み

- ・行政とのリスクコミュニケーション^{*29}として、千葉県及び千葉市食品安全監視指導計画について学ぶ機会を設け、千葉県生協連として提言をおこないます。
- ・新たな「食料・農業・農村基本計画」、最近のコメ不足、生鮮野菜を始めとした食品全

般の価格高騰など、食料生産・流通を巡る最近の諸課題について学習し、会員生協や消費者とともに学ぶ場をひろげます。

- ・食育、エシカル消費^{※30}、健康、食品ロスなどのテーマについても、SDGsの観点から学習や交流を進めます。
- ・食の安全に関する科学的知見、行政の動向など最新情報の提供と、学習と交流の機会を設けます。

④ 防災、減災に関する取り組み

- ・災害対応手順書をもとに速やかに対応できるよう、行政や会員生協との共有化を深めます。
- ・九都県市合同防災訓練への参加、また「千葉県災害ボランティアセンター連絡会」、「災害支援ネットワークちば(CVOAD)^{※31}」との情報共有とネットワークの構築を進めます。
- ・近い将来に起こりうる地震災害などに対応するため、防災・減災の備えの重要性を伝える学習を継続します。

⑤ 憲法、平和に関する取り組み

- ・2024年の日本被団協のノーベル平和賞受賞、「被爆・戦後80年」を迎える中、日本生協連とともに、国内外の核廃絶の気運高揚のため、千葉県内の被爆者団体、被爆者への活動支援を推進します。
- ・「被爆・戦後80年」を迎えた千葉県内の被爆者や戦争体験者の方々から戦禍の実相を学ぶ「平和の懇談会」を開催し、記憶の保存・記録・継承する取り組みを進めます。
- ・被爆・戦争体験を次世代に継承し、核兵器廃絶など平和について考える機会として「子どもたちに平和な未来を2025」を開催します。
- ・緊迫する国際情勢や、核兵器不拡散条約(NPT)再検討会議、核兵器禁止条約締結国会議の動向、その課題について学習します。

- ・くらしの基本となる憲法について、社会情勢、国民の意識やものごとの見方や考え方の変化に合わせ、継続して学習に取り組みます。

⑥ 人権に関する取り組み

- ・情報社会の中でのITリテラシー^{※32}、とくに「個人の尊厳」を守るための「情報的健康」に関する学習や啓発などに取り組みます。
- ・子どもの貧困・虐待、ヤングケアラー^{※33}といった子どもの問題について考えます。
- ・男女共同参画、多様性(性、国籍、人種など)、人権問題に関わる情報を収集し、情報共有を図ります。

⑦ 環境、エネルギー問題に関する取り組み

- ・「第7次エネルギー基本計画^{※34}」や千葉県でおこなわれている再生可能エネルギー事業などの新たな施策について、情報収集と学習を進めます。
- ・容器包装等のリサイクルや食品ロス削減などの実践例を学び、くらしや事業活動に活かします。
- ・会員生協が地域で取り組む環境活動についての交流や学習をおこないます。
- ・「エコメッセ(環境見本市)^{※35}」に賛同し、行政や他団体・企業と連携しながら支援します。

⑧ 会員生協への支援

- ・会員生協の事業に関連する情報や、新しい技術を活用した生協や企業の取り組み事例などの情報収集や学習の機会を設けます。
- ・事業活動の中での人権尊重について、様々な角度から考え、学ぶ機会をつくります。
- ・生協活動の理解や広がりを作るため、社会で活動する多様な人々との交流や連携を図り、新しい取り組みを模索します。

重点課題2

「2025国際協同組合年」を迎え、生協や協同組合の価値を地域で発揮するためにも、自治体や諸団体との一層の連携をはかります。そして、誰ひとり取り残されない、安全で安心な地域社会の実現に取り組みます。

(1) 自治体に関する取り組み

- ①懇談会を通じ、県行政に生協の事業活動、あわせて「2025国際協同組合年」の意義についても理解を深めていただけるよう、取り組みます。
- ②会員生協の事業と活動に活かせるよう、千葉県の施策、法令関係について学ぶ機会として、県行政と共に「消費生活協同組合役員研修会」を開催します
- ③会員生協の広報を活用し、消費者被害の減少・防止のための啓発活動、消費者のくらしと安全に関わる情報提供に取り組むため、県行政との協力・連携を進めます。
- ④地域づくり、食や環境など、生協の活動に関する各分野における県行政との懇談・学習の場を設け、施策への要望等を伝えます。
- ⑤委員として参画する県行政の審議会等への対応を進めます。

(2) 協同組合関係に関する取り組み

- ①「2025国際協同組合年」として、県内生協とともに、県民に「生協の価値」を伝え、生協への理解や利用が広がるよう、折にふれてアピールします。
- ②「千葉県協同組合提携推進協議会^{※36}」に参画し、「協同組合」の意義・価値をより多面的に社会発信できるよう、取り組みます。
- ③「千葉県協同組合提携女性交流会^{※37}」を開催し、農協、漁協との交流、理解を深めます。
- ④「食料・農業・環境を考える千葉県民フォーラム^{※38}」に参画し、「食料・農業・環境を考えるセミナー」開催に協力します。

⑤生協法をはじめ、関連する法制度の動向に関する情報収集、国への働きかけ等、必要な取り組みを日本生協連とともにすすめます。

⑥中央地連管内の生協連、7都県（茨城、栃木、群馬、東京、埼玉、神奈川、千葉）生協連の連携をさらに強めます。

(3) 友誼団体、関係諸団体に関する取り組み

- ①社会福祉協議会、NPO法人、大学、企業、他団体の取り組みを学び、地域課題の解決に関する交流や学習を進めます。
- ②行政、日本生協連、会員生協と連携し、災害時には千葉県生協連が窓口となり対応します。また協定を締結している千葉県、日本赤十字社千葉県支部との懇談を継続します。
- ③生活に困窮する人々への支援のため、県内フードバンクと県内生協で、フードドライブ^{※39}の取り組みを継続しておこないます。

重点課題3

消費者市民社会の実現に向け、地域で活動する消費者団体に協力し、支援します。

- (1) 県内消費者団体で構成する「消費者団体千葉県連絡会」の活動に協力します。半世紀を迎える「第50回千葉県消費者大会」を通じ、あらためて県内の消費者、消費者団体の活動を振り返ります。また、今後の活動の在り方も模索します。
- (2) 消費者被害防止に取り組む適格消費者団体「特定非営利活動法人消費者市民サポートちば」の事務局機能を支援します。また、事業者への不当な契約条項や広告表示などに対する差し止め請求といった被害防止の取り組みを支援します。
- (3) 県内全自治体での消費者安全確保地域協議会、見守りネットワーク^{※40}設置に向け、「消費者行政充実ネットちば」の活動に協力します。

重点課題4

生協の取り組みに共感と理解を深めていただけるよう、様々な場面、年代、団体に向けた情報発信に努めます。

(1) 会報、広報誌等

- ① 「2025国際協同組合年」として、生協、協同組合への理解促進や認知度向上に向けて、会報などで情報を発信します。
- ② 現状を踏まえ、「ちばの生協」をリニューアルします。
- (2) 「千葉県協同組合提携推進協議会」を通じて、協同組合の理念・活動を社会的にアピールしていきます。
- (3) 次世代を担う大学生に、協同組合の価値や歴史、社会的課題の取り組みについて知つてもらう機会として、「国際協同組合年記念千葉大学公開寄附講座^{※41}」へ参加協力します。
- (4) 新しい法令や制度の創設、社会課題の解決に対する意見など、必要に応じ、生協としての意見提言やパブリックコメントなどを発信します。
- (5) 千葉県労働者福祉協議会、日本赤十字社千葉県支部、千葉県社会福祉協議会、千葉市社会福祉協議会などと交流を進めます。

重点課題5

生協の事業と活動の継続・発展を支えるため、民主的かつ効率的な組織運営および県連職員の業務品質の向上に取り組みます。

(1) 機関会議および主要会議の取り組み

- ① 総会は法令および定款、規約の定めるところにより、円滑な運営を進めます。
- ② 理事会は状況に応じ、引き続き対面とオンラインを併用して開催します。
- ③ 県との懇談会を開催し、生協の活動についての理解を図ります。

- ④ 県と共催する役員研修会を開催します。
- ⑤ 会員生協の政策検討への支援として、政策検討会を開催します。

(2) 委員会、部会などの取り組み

- ① 会員生協相互の情報交換や学びを目的として、地域・まちづくり委員会、食・消費者委員会を開催します。
- ② 事業活動、課題の情報交換や交流を目的に、職域生協部会、地域生協部会を開催します。
- ③ 災害時に関係団体と円滑に連携し、必要な対応が進められるよう、大規模災害対策協議会を開催します。
- ④ 実行委員会は、理事会で確認された企画を実行するために、必要に応じて組織します。
- ⑤ 千葉県がおこなう県民に向けた消費者問題に関連する広報活動への協力や意見交換の場として、「広報担当者・消費者行政連絡会」を開催します。

(3) 組織基盤の強化に向けた取り組み

- ① 千葉県生協連の活動を担う職員の業務品質の向上と効率化に向け、業務手順の整理と共有化を進めます。
- ② 環境問題や子育て支援、貧困・格差などの社会的課題や会員生協の事業に関連する課題に対し、職員の教育研修の機会を増やし、県連の活動につなげます。
- ③ 職員一人一人の成長と職員同士の学び合い・助け合いを促進する職場運営・マネジメントを進めます。

本議案における、議案の本旨に反しない範囲での字句の修正は、理事会にご一任ください。

用語解説

※1 情報的健康

さまざまな情報やコンテンツをバランスよく摂取することで、ネット上の諸課題に対する免疫力を養うこと

※2 日本原水爆被害者団体協議会

広島・長崎で原爆被害を受けた被爆者の全国組織。核兵器廃絶と原爆被害への国家補償を柱として活動している

※3 2025国際協同組合年

国連は、さまざまな分野で持続可能な開発目標 (SDGs) に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年 (International Year of Cooperatives : IYC) に定めた

※4 コープSDGs行動宣言

「持続可能な開発目標 (SDGs)」について、生協もその一端を担うべく、取り組みを通じてその実現に貢献することを約束する行動宣言

※5 高齢者孤立化防止プロジェクト「SSK」

千葉県が推進する高齢者孤立化防止プロジェクト。SSK は、「しない・させない・孤立化」の頭文字

※6 千葉県消費者基本計画

千葉県の消費生活に関する各種施策・事業を、「消費者の視点」に立って、総合的・計画的に推進していくための基本指針

※7 アテンション・エコノミー

人々の関心や注目を集めることが経済的価値を持つという経済モデル

※8 食品衛生監視指導計画

食品衛生法第24条の規定に基づき毎年度作成するもので、都道府県などがこの計画に従い食品衛生に関する監視指導を実施する。

※9 フードディフェンス

食品に異物や有害物質が混入するのを防ぐ取り組み。食品テロの防止を目的とする

※10 HACCP

食品の安全を確保するための衛生管理手法。Hazard (危害) Analysis (分析) Critical (重要) Control (管理・制御) Point (点) の頭文字をとった略称で、「危害分析重要管理点」とも呼ばれる

※11 機能性表示食品

国の定めるルールに基づき、事業者が食品の安全性と機能性に関する科学的根拠などの必要な事項を、販売前に消費者庁長官に届け出れば、機能性を表示することができる食品

※12 九都県市合同防災訓練

埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市の九都県市が合同でおこなう防災訓練

※13 千葉県原爆被爆者友愛会

通称「友愛会」または「千葉県友愛会」。「日本原水爆被害者団体協議会」(通称「日本被団協」)の地域組織として、千葉県内の被爆者、被爆二世の皆さんのが集い、核廃絶、平和活動に取り組む。

※14 圧縮減容作業

廃棄物を圧縮して体積を小さくする処理作業

※15 障害者就労支援

障害者に就職に必要な職業訓練 (スキルアップ) だけでなく、安定して就労する上で必要な能力を身につける訓練 (トレーニング) を提供すること

※16 食料安全保障

全ての国民が、将来にわたって良質な食料を合理的な価格で入手できるようにすること

※17 協同組合のアイデンティティ

国際協同組合同盟 (ICA) が1995年に採択した「協同組合のアイデンティティに関する ICA 声明」を指し、協同組合の定義・価値・原則を定めたもの

※18 消費者市民社会

消費者が社会経済や地球環境に配慮した消費行動を心がけ、公正で持続可能な社会を築く社会

※19 適格消費者団体

不特定かつ多数の消費者の利益を擁護するために差止請求権を行使するために必要な適格性を有する消費者団体として内閣総理大臣の認定を受けた法人

※20 生活インフラ

私たちの生活を支える基本的な設備やサービス、施設などを指す。水道、電気、ガス、通信、交通など

※21 消費者物価指数

消費者が購入する財やサービスの価格の変動を測定する経済指標

※22 国民生活基礎調査

厚生労働省が実施する、全国の世帯及び世帯員を対象に、保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項に関する調査

※23 食料・農業・農村基本法

国土や環境の保護など、生産以外で農業や農村の持つ役割を高めること、食料自給率を高めることなどを目的として制定された法律

※24 生成 AI

Generative AI。学習したデータをもとに新しいコンテンツやアイデアを生成する人工知能 (AI)

※25 核不拡散条約（NPT）再検討会議

5年に1度、核不拡散条約（NPT）の運用状況を検討するために開かれ、NPTの実効性を高めるための最終文書の全会一致の採択を目的とする会議

※26 核兵器禁止条約

核兵器の開発や製造、保有、それに使用を国際法で禁じることを定める核兵器禁止条約

※27 ジェンダーギャップ指数

世界経済フォーラムが毎年公表しているもので、経済活動や政治への参画度、教育水準、出生率や健康寿命などから算出される、男女格差を示す指標

※28 千葉県高齢者を地域で支えるネットワーク会議

県行政や県域の関係機関、事業者団体等の連携により、高齢者が安心して暮らせる地域社会の実現を図ることを目的として千葉県が設置

※29 リスクコミュニケーション

消費者、事業者、行政担当者などの関係者の間で情報や意見をお互いに交換しようというもの

※30 エシカル消費

地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと

※31 災害支援ネットワークちば（CVOAD）

千葉県内において災害時の民間による支援活動を効果的かつ協働して行うために発足した団体。

※32 ITリテラシー

IT（Information Technology）に関する知識やスキル、活用能力のこと

※33 ヤングケアラー

本来は大人がやるべき家事や家族の世話（ケア）を日常的に行っている18歳未満の子ども

※34 エネルギー基本計画

日本の中長期的なエネルギー政策の指針

※35 エコメッセ（環境見本市）

持続可能な社会の実現を目的として、環境問題に関する取り組みや商品の紹介などを行なうイベント

※36 千葉県協同組合提携推進協議会

千葉県内の農林漁協と生協で構成する協議会。県内の協同組合の提携を推進し、組合員の生活安定、協同組合の社会的地位の向上などを図ることを目的とする。

※37 千葉県協同組合提携女性交流会

千葉県生協連、千葉県漁協女性部連絡協議会、JA千葉女性部協議会、千葉県協同組合提携推進協議会が主催し、農林水産業及び生産現場での体験、暮らしに共通する課題の話し合

いなどを通じ、生産者と消費者が相互に交流することを目的として、毎年開催するもの

※38 食料・農業・環境を考える千葉県民フォーラム

千葉県民が連携して「食と農と環境」の観点から、持続可能な社会を構築することを目的とした団体

※39 フードドライブ

家庭で使いきれない未使用の食品を持ち寄り、まとめてフードバンク団体や、地域の福祉施設、子ども食堂などに寄贈する活動のこと

※40 消費者安全確保地域協議会、見守りネットワーク

消費者安全法改正により設置が規定された。高齢者、障害者などの判断力が不十分となった方の消費者被害を防ぐため、地方公共団体及び地域の関係者が連携して見守り活動をおこなう

※41 国際協同組合年記念千葉大学公開寄附講座

前回、2012年の国際協同組合年（IYC）を記念し結成された全国協議会が開講する寄附講座

II 2025年度収支予算

【1】2025年度収支予算案

自2025年4月1日 至2026年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	24年度実績	前年度比 (%)	経費科目	金 額	24年度実績	前年度比 (%)
I. 事業収入				役員報酬	9,500,000	9,500,004	100.0
会費収入	47,900,000	47,853,000	100.1	職員給与	12,500,000	12,603,588	99.2
				福利厚生費	5,000,000	4,778,600	104.6
II. 事業経費				退職給付費用	1,297,000	1,196,427	108.4
人件費	29,977,000	29,696,656	100.9	派遣人件費	1,680,000	1,618,037	103.8
物件費	17,251,000	16,212,147	106.4	人件費計	29,977,000	29,696,656	100.9
合 計	47,228,000	45,908,803	102.9	通信交通費	1,050,000	843,464	124.5
事業剰余金	672,000	1,944,197	34.6	調査研究費	500,000	406,056	123.1
III. 事業外収入				広報費	1,400,000	1,200,997	116.6
受取利息	9,000	17,638	51.0	会議費	3,500,000	2,324,811	150.5
雑収入	82,000	164,466	49.9	賃借料	5,028,000	5,029,185	100.0
合 計	91,000	182,104	50.0	涉外費	550,000	547,567	100.4
IV. 事業外費用				教育文化費	1,400,000	1,299,460	107.7
雑損失	0	0	0.0	消耗品費	700,000	459,145	152.5
経常剰余金	763,000	2,126,301	35.9	諸会費	1,663,000	1,526,069	109.0
当期税引前剰余金	763,000	2,126,301	35.9	水道光熱費	350,000	335,214	104.4
				減価償却費	10,000	4,176	239.5
				雑費	350,000	240,853	145.3
				寄付金	0	1,263,000	0.0
				業務委託費	750,000	732,150	102.4
				物件費計	17,251,000	16,212,147	106.4
				経費合計	47,228,000	45,908,803	102.9

第68回通常総会にて、理事の年間報酬額を1,200万円以内で提案し、承認されました。

2025年度の役員報酬予算は、この上限額以内です。

役員選任の件

1. 提案の内容

本総会の終結をもって、理事及び監事全員が任期満了となります。定款第18条、19条、21条および役員選任規約に基づき、別記名簿の役員候補者（理事13人、監事3人）を役員として選任することを提案いたします。

2. 役員選任の経過

- (1) 2025年3月25日に開催した第5回理事会において、役員選任規約実施細則第3条に基づき、千葉県生協連第76回通常総会における役員選任に関する公告の件について議決をしました。
- (2) 同じく同日開催された第5回理事会において、役員選任規約第5条および選任規約実施細則第4条に基づき理事会が選任する役員推薦委員6人を議決しました。
- (3) 同じく同日開催された第5回理事会において、役員選任規約第2条および役員選任規約実施細則第3条に基づき全体区分理事（常勤理事）候補者1名、監事候補者3名の推薦を確認しました。
- (4) 2025年4月1日に役員選任規約実施細則第3条に基づき、「千葉県生協連第76回通常総会における役員選任に関する公告」をおこない、4月1日～4月18日までの期間で申出を受け付けたところ、分野区分理事として12名のお申出をいただきました。
- (5) 役員選任規約実施細則第6条1項及び2項に基づき、4月23日に開催した第1回役員推薦委員会で、推薦すべき候補者について選考をおこない、選考結果を会長理事に報告しました。会長理事は監事候補について監事に通知しました。
- (6) 4月30日開催の第2回監事会において、第76回通常総会第3号議案「役員選任の件」について議案として妥当であることを確認するとともに、役員選任規約第5条8項及び9項にもとづき、監事による協議をおこない、監事候補者について同意し、会長理事に通知しました。
- (7) 5月22日開催の第6回理事会において、第76回通常総会第3号議案として提案することを確認しました。

3. 役員候補者

役員名	氏名	所属生協名	
理事	高橋 由美子	生活協同組合パルシステム千葉 理事長	再任
理事	新村 里志	生活協同組合パルシステム千葉 専務理事	再任
理事	打越 和佳子	生活協同組合コープみらい 組織推進担当統括部長	新任
理事	高山 由美子	生活協同組合コープみらい 理事	新任
理事	山崎 優一	生活クラブ生活協同組合 常務理事	新任
理事	岩崎 秀人	なのはな生活協同組合 専務理事	再任
理事	鶴岡 隆幸	千葉県庁生活協同組合 専務理事	再任
理事	柴崎 智彦	千葉大学生活協同組合 専務理事	再任
理事	筒井 道広	千葉県学校生活協同組合 専務理事	再任
理事	杉浦 高志	千葉県勤労者共済生活協同組合 専務理事	再任
理事	大見 卓央	生活協同組合ちば住宅コープ 専務理事	再任
理事	玉木 翔吾	千葉商科大学生活協同組合 専務理事	新任
理事	尼崎 英之	千葉県生活協同組合連合会 専務理事	再任

監事	有吉 直樹	東邦大学消費生活協同組合 専務理事	再任
監事	渡邊 秀樹	千葉県高齢者生活協同組合 理事長	再任
監事	木村 隆之	生活協同組合コープみらい 有識者監事	新任

【注記】役職名は2025年5月22日時点のものです。

本議案における、議案の本旨に反しない範囲での字句の修正は、理事会にご一任ください。

<付属資料>

■地域生協の市町村別加入状況一覧

■2024年度 会員生協概況表

地域生協の市町村別加入率 (2025年3月31日現在)

人口・世帯数は2025年4月1日現在 (千葉県毎月常住人口調査より)

市町村名	総人口	世帯数	なのはな	パルシステム
県 計	6,271,154	2,931,205	10,839	267,366
不 明				
そ の 他			1,986	2,709
合 計	6,271,154	2,931,205	12,825	270,075
中 央 区	219,358	119,301	561	8,479
花 見 川 区	177,180	86,276	381	7,207
稻 毛 区	160,698	79,213	369	7,087
若 葉 区	144,447	67,427	248	5,552
緑 区	128,532	53,386	367	6,356
美 浜 区	155,120	73,317	305	6,441
千 葉 市 合 計	985,335	478,920	2,231	41,122
銚 子 市	52,604	25,018		1,013
市 川 市	500,648	255,637	1,918	21,614
船 橋 市	649,493	306,920	1,262	27,115
館 山 市	42,502	20,355		1,855
木 更 津 市	136,841	62,263	121	4,540
松 戸 市	500,373	245,385	734	21,793
野 田 市	151,733	67,293		20,298
茂 原 市	84,004	38,541	70	2,992
成 田 市	134,107	65,218	359	3,793
佐 倉 市	163,689	72,507	428	6,499
東 金 市	56,484	26,428	52	2,415
旭 市	60,428	25,251		1,759
習 志 野 市	175,948	83,163	413	7,835
柏 市	436,545	201,923	486	20,438
勝 浦 市	15,033	7,593		177
市 原 市	261,538	122,143	230	8,708
流 山 市	213,816	91,714	271	11,648
八 千 代 市	204,781	92,785	252	8,100
我 孫 子 市	130,010	59,865	173	7,106
鴨 川 市	29,752	14,408		673
鎌 ケ 谷 市	109,847	50,217	169	4,269

コープみらい	生活クラブ	組合員合計	2022 加入率 (%)	2023 加入率 (%)	2024 加入率 (%)
928,288	43,484	1,249,977	42.50	42.58	42.64
183		183			
5,723	465	10,883			
934,194	43,949	1,261,043	42.98	42.96	43.02
30,763	1,071	40,874	34.91	34.75	34.26
35,777	1,346	44,711	48.22	48.19	51.82
25,120	1,873	34,449	44.19	43.94	43.49
26,268	1,387	33,455	49.57	49.49	49.62
18,428	844	25,995	49.02	49.00	48.69
19,660	2,241	28,647	39.62	39.36	39.07
156,016	8,762	208,131	43.27	43.09	43.46
8,160	42	9,215	36.64	36.76	36.83
60,659	1,949	86,140	33.41	33.65	33.70
105,276	3,275	136,928	44.53	44.63	44.61
6,823	95	8,773	41.58	42.09	43.10
18,534	773	23,968	38.63	38.47	38.49
71,242	3,752	97,521	39.53	39.68	39.74
13,602	1,118	35,018	52.77	52.63	52.04
12,485	321	15,868	40.66	41.07	41.17
17,495	623	22,270	35.29	34.75	34.15
23,979	2,167	33,073	45.89	45.81	45.61
8,280	235	10,982	41.60	41.69	41.55
7,784	77	9,620	38.22	38.20	38.10
24,879	1,069	34,196	41.44	41.27	41.12
46,721	4,711	72,356	35.20	35.59	35.83
3,555	51	3,783	47.05	48.54	49.82
38,650	1,419	49,007	39.87	40.11	40.12
41,508	2,767	56,194	60.20	61.03	61.27
39,766	1,325	49,443	53.85	53.63	53.29
14,154	1,193	22,626	37.81	37.63	37.80
5,865	117	6,655	43.74	45.09	46.19
27,031	627	32,096	62.91	63.62	63.91

市町村名	総人口	世帯数	なのはな	パルシステム
君津市	78,171	35,555	20	1,972
富津市	39,032	17,617		683
浦安市	172,648	85,314	491	8,101
四街道市	94,798	40,976	168	3,544
袖ヶ浦市	64,979	27,339	42	2,186
八街市	65,397	29,814	99	2,160
印西市	109,050	42,412	182	5,914
白井市	61,225	25,391	100	2,793
富里市	49,570	23,724	143	1,396
南房総市	32,500	14,420		960
匝瑳市	32,388	13,153		920
香取市	66,972	28,007	130	1,387
山武市	45,736	20,023	121	1,546
いすみ市	32,770	14,384	3	375
大網白里市	46,600	20,355	127	2,268
酒々井町	20,156	9,592	174	709
栄町	19,294	8,495	58	639
神崎町	5,497	2,391	35	118
多古町	12,600	5,074	4	237
東庄町	12,081	4,724		288
九十九里町	13,142	6,015	9	449
芝山町	6,515	2,543		148
横芝光町	20,695	8,448		665
一宮町	11,870	5,285		490
睦沢町	6,324	2,494		229
長生村	12,927	5,590		463
白子町	9,546	4,169		336
長柄町	6,163	2,523	6	208
長南町	6,452	2,553		206
大多喜町	7,974	3,298		10
御宿町	6,412	3,082		15
鋸南町	6,159	2,898		189
千葉市外合計	5,285,819	2,452,285	8,850	226,244

※不明：住所不明

※その他：県外組合員

コープみらい	生活クラブ	組合員合計	2022 加入率 (%)	2023 加入率 (%)	2024 加入率 (%)
13,475	307	15,774	44.16	44.29	44.37
6,895	96	7,674	43.31	43.56	43.56
16,607	1,799	26,998	31.95	31.76	31.65
16,945	762	21,419	52.70	52.58	52.27
11,372	342	13,942	50.74	50.94	51.00
8,923	231	11,413	38.53	38.62	38.28
14,626	1,435	22,157	52.21	52.26	52.24
9,507	674	13,074	52.16	51.82	51.49
6,038	169	7,746	33.51	32.97	32.65
5,928	107	6,995	46.03	47.03	48.51
4,716	53	5,689	44.43	43.69	43.25
11,006	20	12,543	44.61	44.44	44.79
7,468	103	9,238	46.65	46.31	46.14
6,260	147	6,785	45.71	46.72	47.17
6,599	205	9,199	44.09	44.60	45.19
2,499	93	3,475	36.84	35.85	36.23
3,316	125	4,138	48.70	49.06	48.71
1,016	4	1,173	48.56	49.49	49.06
1,918	19	2,178	43.18	42.85	42.92
1,913	2	2,203	46.47	46.68	46.63
2,161	26	2,645	41.84	42.79	43.97
914	12	1,074	41.85	43.28	42.23
3,122	16	3,803	45.00	45.08	45.02
1,746	69	2,305	42.76	42.85	43.61
1,020	21	1,270	50.52	50.94	50.92
1,973	27	2,463	43.16	43.66	44.06
1,520	13	1,869	42.87	44.36	44.83
1,019	20	1,253	49.38	49.44	49.66
1,117	7	1,330	50.69	51.37	52.10
1,573	36	1,619	46.73	47.90	49.09
1,358	72	1,445	45.35	46.08	46.89
1,274	4	1,467	50.00	50.33	50.62
772,272	34,722	1,042,088	42.35	42.48	42.49

2024年度 会員生協概況表

千葉県生活協同組合連合会

生協名	組合員数			総供給高(千円)		
	23年度	24年度	前年同期比	23年度	24年度	前年同期比
地域	なのはな	12,556	12,825	102.1	1,997,905	2,038,380
	パルシステム	267,798	270,075	100.9	34,478,062	35,001,448
	コープみらい	916,019	933,984	102.0	103,544,351	105,143,091
	生活クラブ	43,863	43,949	100.2	8,884,708	9,090,159
	地域計	1,240,236	1,260,833	101.7	148,905,026	151,273,078
県内会員	千葉県庁	14,734	14,641	99.4	299,685	313,594
	千葉商大	4,864	4,991	102.6	154,717	152,342
	千葉大学	12,315	12,382	100.5	1,287,442	1,344,204
	東邦大	3,774	3,599	95.4	281,630	300,724
	学校	41,537	41,742	100.5	413,004	427,428
	ちば住宅コープ	12,248	12,308	100.5	282,044	280,382
	高齢者生協	532	535	100.6	112,677	106,921
	職域・専門計	90,004	90,198	100.2	2,831,199	2,925,595
総合計		1,330,240	1,351,031	101.6	151,736,225	154,198,673
準会員	生協名	組合員数	県内組合員数	県内比率	総供給高	県内供給高
	東都生協	262,338	1,506	0.57	32,951,363	152,551
	常総生協	3,697	702	19.0	884,597	176,126

※コープみらいは千葉県内の数字です

作成日 2025年5月2日

出資金高 (千円)			組合員一人当たり月利用高 (円)			組合員一人当たり出資金 (円)		
23年度	24年度	前年同期比	23年度	24年度	前年同期比	23年度	24年度	前年同期比
813,975	827,775	101.7	13,260	13,385	100.9	64,828	64,544	99.6
10,470,570	10,600,179	101.2	10,729	10,846	101.1	39,099	39,249	100.4
23,760,184	24,081,850	101.4	9,420	9,472	100.6	25,939	25,784	99.4
4,214,521	4,244,897	100.7	16,880	17,253	102.2	96,084	96,587	100.5
39,259,250	39,754,701	101.3	10,005	10,081	100.8	31,655	31,531	99.6
281,752	275,610	97.8	1,695	1,779	105.0	19,123	18,825	98.4
95,433	97,953	102.6	2,651	2,576	97.2	19,620	19,626	100.0
170,736	170,344	99.8	8,712	9,071	104.1	13,864	13,757	99.2
56,510	53,900	95.4	6,219	6,798	109.3	14,974	14,976	100.0
189,788	177,546	93.5	829	855	103.2	4,569	4,253	93.1
61,540	61,840	100.5	1,919	1,903	99.2	5,024	5,024	100.0
1,997	1,969	98.6	17,650	16,701	94.6	3,754	3,680	98.0
857,756	839,162	97.8	2,621	2,706	103.2	9,530	9,304	97.6
40,117,006	40,593,863	101.2	9,506	9,585	100.8	30,158	30,047	99.6
出資金高	組合員一人当たり出資金 (円)							
6,528,193	24,885							
336,567	91,038							
こくみん共済 coop 千葉推進本部 2024年5月末組合員数 401,510名								